

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ			
えび人 vol.63	2	ホール・ギャラリー	8
今号の表紙	3	相談	9
HUGHUG子育て	4	図書館	10
市民の広場	7		

「広報えびな」の共通マークとルール

回日時・日にち 開催期間 開催時間 開催場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

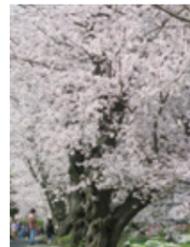
えびな



わたしは、サッカーをがんばっています。
 上星小学校 高田侑杏さん(10歳)

写真

タイトル：お花見
 撮影場所：上郷2丁目鳩川付近
 撮影者：国分北在住
 花形晴雄さん



編集雑記

春は出会いと別れの多い季節。この時期の私たちの心はとても忙しいかもしれませんが。取材や撮影もご協力いただいた方との出会いと別れの繰り返しです。でも、どこかで「広報えびな」を通じたつながりは続いているのでは。そう思うと私は、市民の皆さんと一緒に作っているような気持ちになる時があります。(あ)



出会いとつながりは私の宝物

全ての経験と出会いが今につながっていると話す三保さん。幼い頃から子ども会やジュニアリーダーズクラブへの参加を通じ、地域活動に関わってきました。「成長した子どもたちの姿を見るのが学童の仕事の楽しみ。『あの時言ってくれた一言で頑張れたよ』なんて伝えてくれると、とてもうれしいんですよ」

「イベントなどで地域の方々や商店街と協力し合う時は、周りの人たちに支えてもらってるんだ、とつながりをひしひしと感じます」。自らの行動の答えはそのつながりから返ってくることも話す三保さん。「私が大切にしている人同士が私を通してつながっていくと本当にうれしい。やりがいも感じます。どうすれば一緒に楽しめるか、作戦を練って、形にすることはやっぱり好き」と元気に話します。

「もっとももっとつながれる」ことを目指して、子どもたちの成長と地域発展の後押しを続けます。



商店街と一緒に企画すること
も地域とつながるチャンスに

つながった家族のような仲間
は大切な宝物

今月のえび人

みほあやか
 三保文絵さん
 (国分寺台在住・51歳)

平成2年から学童保育所「チュンマクラブ」を家族で運営し、現在は市内4カ所に展開。美術大学で学んだ経験を生かした絵画教室のほか、ヨガ教室の開催も。人生で大切にしているのは人のつながり。